

「データセンター博多駅」の特長

1 災害に強い堅牢・高信頼なファシリティ

- ・福岡は、地震や津波などの自然災害リスクが低く、メイン・バックアップサイト拠点として最適
- ・電気・通信設備、サーバールームなどの重要設備は全て建物の2階以上に設置しており、浸水被害のリスクもなく、継続運用が可能
- ・九州で数少ないJDCCティア4^{※1}相当の堅牢・高信頼ファシリティ
- ・震度7クラスの大規模地震が発生しても、安定運用を継続できる免震構造を採用
- ・異なる変電所からの2系統受電に加え、冗長化した無停電電源装置や非常用発電機により、安定した電力供給が可能
- ・運用要員が常駐可能なBCPオフィスを完備するなど、お客さまの基幹系システムやクラウド事業者のサービス基盤など大規模ニーズにも対応可能
- ・AIなど大量のデータを処理する高負荷型サーバーにも対応

2 利便性の高い立地環境

- ・福岡は、一日当たりの飛行機や新幹線の運行本数も多く、東京・名古屋・大阪といった主要都市から短時間でアクセスが可能
- ・九州最大のターミナルである博多駅から徒歩数分、空の玄関口福岡空港からも10数分と好アクセスな環境のため、緊急時にも各種交通手段により、短時間での駆けつけが可能

3 安心と信頼のサポート体制

- ・初めてデータセンターサービスをご利用されるお客さまでも当社の営業・技術スタッフが親切・丁寧にサポート
- ・24時間365日の有人監視や運用代行サービスなど、お客さまが安心して大切な情報資産をお預けいただける環境をご提供
- ・建物入り口からサーバーラックまでFISC^{※2}に準拠した7段階（フラッパーゲート、ICカードリーダー、生体認証、監視カメラ等）の多重セキュリティ
- ・データセンター専用ビルとなっており、安定稼働やセキュリティを重要視するお客さまに対応

※1 JDCCティア4：JDCCデータセンターファシリティスタンダード（日本データセンター協会が定めるデータセンターの堅牢性・可用性・セキュリティ性能を表す基準）での最高レベル

※2 FISC：金融機関等コンピューターシステム安全対策基準